

もくじ

■地理 B (地 B306)

1	学習の到達目標.....	2
2	科目の特色.....	2
3	学習の計画.....	3
4	評価の方法.....	21

地理B	単位数	4単位（140時間）
	学科・学年・学級	〇〇科 第〇学年 〇組
使用教科書，副教材等	東京書籍「地理B」（地B306），「要点マスター 地理B 整理・演習ノート」， 「地理白地図ノート」（以上 東京書籍）	

1 学習の到達目標

- ①現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。
- ②現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。
- ③地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。

2 科目の特色

第1編 さまざまな地図と地理的技能	第2編 現代世界の系統地理的考察	第3編 現代世界の地誌的考察
第1章 地理情報の表現方法 第2章 地図の活用と地域調査	第1章 自然環境 第2章 産業と資源 第3章 人口，都市・村落 第4章 生活文化，民族・宗教	第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 第3章 現代世界と日本
<作業的，体験的学習を通して地理的事象を考察するための技能を理解>	<現代世界の地理的諸事象を系統地理的に考察し，諸課題について地球的視野から理解>	<世界の諸地域の特色や課題を多角的・多面的に考察>

地理的考察の方法

地球儀やさまざまな地図の活用，観察や調査，統計・画像・文献などの地理情報の収集・選択・処理，諸資料の地理情報化や地図化などを通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を考察します。

現代の世界は，グローバル化の進展に伴って国や地域が結びつき，相互の関係をいっそう強めています。いっぽうで，わたしたちを取り巻く地球環境や国際情勢は日々変化を続け，わたしたちの生活圏から地球規模にいたるまで数多くの課題を抱えています。これらの諸課題を解決するための方法や工夫は，地理的な見方や考え方を身につけることで見いだすことができます。そのためには，地球上のさまざまな自然環境や生活文化，産業といった地理的事象や世界の諸地域について認識し，多面的・多角的にとらえる必要があります。こうしたねらいが達成できるよう，地理Bは以下のように構成されています。

第1編では，現代世界のさまざまな地理的事象を理解し，考察するために必要な地理的技能を，さまざまな地図の読図や作図などの作業的，体験的な学習を通して学習します。

第2編では，自然環境，産業と資源，人口，都市・村落，生活文化，民族・宗教など，テーマごとに地理的な事象を取り上げ，分布や空間的な広がりについての考察を通して，地球的な視野から地理的事象を学習します。

第3編では、第1編で学習した地理的技能と第2編で学習した系統地理的な知識や概念を活用して、世界の諸地域の特色や課題をとらえるために、歴史的背景を踏まえながら多面的・多角的に学習します。

これらの学習を通じて、国際社会で主体的に生きるとともに、平和で民主的な社会をつかっていくために必要な思考力、判断力、表現力を身につけることを目指します。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
4月	第1編 さまざまな地図と地理的技能 第1章 地理情報の表現方法	1 球体としての地球	<p>○地球上の水陸分布、経緯線を踏まえた位置、時差や季節の生じるメカニズムについて考察することで、球面状の世界について把握します。</p> <p>○地球儀や地図を用いて大陸間の方位や距離、位置関係について考察することで、球体としての地球の姿を把握します。</p> <p>○経線に着目し、時差の仕組みやそれについての各国の対応について考察することで、時間の概念について把握します。</p>	<p>○地球儀を用いて水陸分布や経緯線の確認を行うとともに、地球儀にライトを当てて時差や季節の生じる理由について体験的に学びます。</p> <p>○正しい世界観を身につけるべく、地球儀や地図を用いて大陸間の方位や距離、位置関係について確認します。</p> <p>○北極中心の正距方位図法を用いて世界各都市間の時差を求める方法を身につけるとともに、航空時刻表を用いて時差計算を行います。</p>
		2 地理情報と地図	<p>○地図の有用性を把握した上で、情報通信技術の発達が地図表現に具体的にどのような影響をもたらしたのかを理解します。</p> <p>○国内外の各時代の世界地図を取り上げ、その特徴について考察することで、当時の人々の世界観を把握します。</p> <p>○世界地図は球体を平面にしているゆえに歪みが生じ、そこからさまざまな投影法が開発されてきたことを理解します。</p>	<p>○GISの仕組みについて学ぶとともに、実際にそれを活用して地図を作成します。</p> <p>○各時代の世界地図を現代のそれと比較することを通じて、当時を生きた人々の世界観の特徴について考察します。</p> <p>○世界地図をフリーハンドで描き、そこから人々の世界観の歪みの原因について考え、用途に応じた世界地図の活用方法を考えます。</p>
		3 地理情報を地図化する	<p>○地図は地理情報が表現されたものであること、表現方法によって一般図と主題図とに分かれることを理解します。</p> <p>○統計資料等をもとにさまざま</p>	<p>○地形図と主題図とを見比べてそれぞれの特徴と利点について具体的な事例となる地図を用いて考察します。</p> <p>○さまざまな主題図の作成、読</p>

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			<p>まな種類の主題図を作成し、その読み取りを行うことで地理的事象を考察するための技能を身につけます。</p>	<p>み取りを通じて地理的事象の分布の特性を把握し、異なる主題図を比較することで、空間的規則性を見いだします。</p>
	第2章 地図の活用と 地域調査		<p>○地域調査の一連の流れを理解し、学校周辺地域を事例に調査計画の立案、調査、調査結果の発表をする方法を身につけます。</p> <p>○景観写真や地図から地域の特性をとらえる方法を身につけます。</p> <p>○地域の特徴を理解する手段として地形図のルールと読図方法を身につけます。</p>	<p>○地域調査の一連の流れを踏まえながら学校周辺地域における調査計画を立案し、本調査を行い、その結果を発表します。</p> <p>○景観写真や地図を用いて学校周辺地域の特徴について読み取ります。</p> <p>○地形図を用いて土地利用、距離、面積など基礎的事項について読み取ります。</p>
5 月	第2編 現代世界の系 統地理的考察 第1章 自然環境	1 世界の地形	<p>○生活環境の基盤となる地形の重要性、地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解を深めます。</p> <p>○世界の大地形の分布の特徴についてプレートテクトニクスとの関わりから理解を深めます。</p> <p>○安定大陸の特徴と人間生活との関係について平野と山地の側面から理解を深めます。</p> <p>○変動帯の特徴とその形成をプレート運動との関係からとらえると同時に、人間生活との関係についても言及します。</p> <p>○変動帯に見られる小地形の特徴とその形成過程について理解を深めると同時に、人間生活との関係についても言及します。</p> <p>○海岸地形やサンゴ礁地形の特徴とその形成過程について理解を深めると同時に、人間生活との関係についても言及</p>	<p>○衛星画像や模式図を用いて地球表面の起伏の状態について読み取るとともに、地形の形成要因について考察します。</p> <p>○大地形の分布の特徴についてプレート境界や地震帯・火山帯分布との関係から考察します。</p> <p>○景観写真や模式図を用いて安定大陸の特徴や形成過程、人間生活との関係性を考察します。</p> <p>○景観写真や模式図を用いて変動帯の特徴や形成過程、人間生活との関係性について考察します。</p> <p>○景観写真や模式図を用いて変動帯に見られるさまざまな小地形の特徴や形成過程、人間生活との関係性について考察します。</p> <p>○景観写真や模式図を用いてさまざまな海岸地形、サンゴ礁地形の特徴や形成過程、人間生活との関係性について考察し</p>

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			<p>します。</p> <p>○氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の特徴とその形成過程について理解を深めるとともに、人間生活との関係についても言及します。</p> <p>○地震・津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害について理解を深めます。</p> <p>○授業で扱ってきた各種地形の特徴について地形図の読図を通じて再確認します。</p>	<p>ます。</p> <p>○景観写真や模式図を用いて氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の特徴や形成過程、人間生活との関係性について考察します。</p> <p>○写真を用いて地震と津波の発生メカニズムや被害の状況について考察します。</p> <p>○各種地形の特徴について再確認するために地形図の読図作業を行います。</p>
		2 世界の気候	<p>○気候環境を形成する大気の大循環についての理解を前提に、地域によって生じる気候の違いとその要因について言及します。</p> <p>○世界規模での各気候帯の分布の特徴を踏まえた上で、各気候帯と植生や土壌との対応関係について理解を深めます。</p> <p>○各気候区の分類基準への理解を前提に雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて各気候区への理解を深めます。</p> <p>○熱帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、環境問題について多面的に理解を深めます。</p> <p>○乾燥帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、環境問題について多面的に理解を深めます。</p> <p>○温帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化について多面的に理解を深めます。</p> <p>○亜寒帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、環境問</p>	<p>○大気の大循環と気候環境形成の関係性、気候環境の地域的相違が存在する理由について模式図や主題図を用いて考察します。</p> <p>○模式図を用いて世界規模での各気候帯の分布の特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について考察します。</p> <p>○雨温図やハイサーグラフを作成し、それを読み取ることで気候区を判別し、その特徴について考察します。</p> <p>○景観写真を用いて熱帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、環境問題について考察します。</p> <p>○景観写真を用いて乾燥帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、環境問題について考察します。</p> <p>○景観写真を用いて温帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、環境問題について考察します。</p> <p>○景観写真を用いて亜寒帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、環境問題について考</p>

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
6 月			<p>題について多面的に理解を深めます。</p> <p>○寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，環境問題について多面的に理解を深めます。</p> <p>○高山気候の特徴やそこでの生活・文化について多面的に理解を深めます。</p> <p>○異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害と被害の状況についての理解を深めます。</p>	<p>察します。</p> <p>○景観写真を用いて寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，環境問題について考察します。</p> <p>○景観写真を用いて高山気候の特徴やそこでの生活・文化について考察します。</p> <p>○写真を用いて異常気象と気候変化によりもたらされる自然災害の被害状況について考察します。</p>
		3 日本の自然環境	<p>○日本の地形の特徴や日本でこれまでに発生した火山・地震・津波の各自然災害について理解を深めます。</p> <p>○日本の気候の特徴や日本でこれまでに発生した気象災害について理解を深めます。</p>	<p>○地図を用いてプレートの境界と震源・活火山との位置関係について考察します。</p> <p>○雨温図を用いて各地の気候の特徴を把握し，図や写真を用いて気象災害について考察します。</p>
		4 世界の環境問題	<p>○環境問題の特徴について理解を深めます。</p> <p>○地球規模で起こるさまざまな環境問題の背景・要因とそれによってもたらされる影響について多面的に理解を深めます。</p> <p>○地球環境をめぐる国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解を深めます。</p>	<p>○地域スケールの違いや南北問題との関係に留意して環境問題の特徴を考察します。</p> <p>○ウェビングマップの作成を通じて地球規模でのさまざまな環境問題の背景・要因とそれによってもたらされる影響について考察します。</p> <p>○地球的課題の解決へ向けてのさまざまな国際的取り組みの事例とその課題について考察します。</p>
	第2章 産業と資源	1 産業の発展と 産業地域	<p>○産業の歴史の変容とその社会的背景について理解を深めます。</p> <p>○情報社会の進展に伴う産業や生活への影響について理解を深めます。</p> <p>○産業立地によってもたらされる地域構造の変化と地域間</p>	<p>○農業社会→工業社会→情報社会への変容の過程と各段階の特徴について考察します。</p> <p>○情報社会の進展が産業や生活へもたらした影響について具体例をあげて考察します。</p> <p>○産業立地によってもたらされる地域構造の変化と地域間</p>

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			<p>の結びつきの特徴について理解を深めます。</p> <p>○日本の貿易構造の変化，日本と世界各国の産業構造の変化について理解を深めます。</p>	<p>の結びつきの特徴について具体例をあげて考察します。</p> <p>○散布図の作成を通じて日本の貿易構造の変化の特徴について考察するとともに，三角ダイアグラムの作成を通じて日本と世界各国の産業構造の変化について考察します。</p>
		2 農林水産業	<p>○農業立地の成立要因について自然，社会，市場との距離，経済水準，国家政策の側面から理解を深めます。</p> <p>○農業の発展過程とその社会的背景について3つの時代に区分して理解を深めます。</p> <p>○産業化した現代農業の特色についてフードシステムの観点から理解を深めます。</p> <p>○グローバル化に伴う農業地域の変化の状況についてアメリカ，EU，アジアを例に理解します。</p> <p>○世界の農産物流通の特徴について小麦，米，肉類，野菜を例に理解を深めます。</p> <p>○日本の農産物輸入自由化に伴う食料自給率の低下によって引き起こされる問題点について理解します。</p> <p>○農産物貿易拡大によって生じる諸問題について多面的・多角的に理解を深めます。</p> <p>○森林資源の分布と役割ならびに林業の現状について理解を深めます。</p> <p>○水産業の特色，水産資源の分布，水産物貿易の現状について理解を深めます。</p> <p>○日本の農林水産業の変遷について理解を深めます。</p>	<p>○農業立地の成立要因について自然，社会，市場との距離，経済水準，国家政策の側面から考察します。</p> <p>○農業の発展過程とその社会的背景について3つの時代に区分して考察します。</p> <p>○産業化した現代農業の特色についてフードシステムの観点から模式図を用いて考察します。</p> <p>○グローバル化に伴う農業地域の変化の状況についてアメリカ，EU，アジアを例に考察します。</p> <p>○統計資料を用いて世界の農産物流通の特徴について小麦，米，肉類，野菜を例に考察します。</p> <p>○日本の農産物輸入自由化に伴う食料自給率の低下によって引き起こされる問題点について考察します。</p> <p>○農産物の貿易拡大によって生じる諸問題についてさまざまな角度から考察します。</p> <p>○森林資源の分布と役割ならびに林業の現状について資料を用いて考察します。</p> <p>○水産業の特色，水産資源の分布，水産物貿易の現状について資料を用いて考察します。</p> <p>○日本の農林水産業の変遷に</p>

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
7 月				ついて統計を用いて考察します。
		3 食料問題	<p>○食料の供給・生産・流通における地域差を地球的視野から大観します。</p> <p>○緑の革命や遺伝子組み換え食品といった食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状とその問題点について理解を深めます。</p> <p>○食料不足の解決へ向けた国際協力の現状と課題、今後の展望について理解を深めます。</p>	<p>○主題図や統計を用いて世界の食料供給の地域差を認識し、食料問題の存在を把握します。</p> <p>○緑の革命や遺伝子組み換え食品といった食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状とその問題点について資料をもとに考察します。</p> <p>○食料不足の解決へ向けた国際協力の現状と課題、今後の展望について考察します。</p>
		4 エネルギーと 鉱産資源	<p>○暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の高まりより生じる問題点について理解を深めます。</p> <p>○石油、石炭などの化石燃料を事例にエネルギー生産と消費の偏在性やそれに伴い生じる課題について理解を深めます。</p> <p>○原子力発電が石油代替エネルギーの筆頭にあげられる理由とともに、原発がもたらす問題点について理解を深めます。</p> <p>○工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について鉄鉱石と非鉄金属のそれぞれにおいて理解を深めます。</p>	<p>○統計を用いてエネルギー生産・消費量の増大、消費格差とその背景について考察します。</p> <p>○主題図や統計を用いて石油や石炭の生産と消費の偏在性やそれに伴い生じる課題について考察します。</p> <p>○原子力発電が石油代替エネルギーの筆頭にあげられるようになった背景、原発がもたらす問題点について考察します。</p> <p>○工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について鉄鉱石と非鉄金属とに分けて主題図や統計をもとに考察します。</p>
5 資源・エネルギー問題	<p>○化石燃料の大量消費に伴って生じる資源の枯渇や地球温暖化などの環境問題についてさまざまな観点から理解を深めます。</p> <p>○鉱産資源の枯渇や地球温暖化に対処するためのエネルギー</p>	<p>○化石燃料の大量消費に伴い生じる枯渇化や地球温暖化などの環境問題についてさまざまな観点から考察します。</p> <p>○地球社会の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の在り方について模索</p>		

月	单元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
9 月			一政策の取り組みについてさまざまな側面から理解を深めます。	し、具体策を立案します。
		6 工業の立地と工業地域の変容	<p>○工業立地の条件がどのように類型化されるのか理解を深めるとともに、立地の変化要因とそれによって生じる問題点について考えます。</p> <p>○先進国と東・東南アジア、BRICS における工業地域の分布とその変化について理解を深め、三極構造を見いだします。</p> <p>○自動車工業とエレクトロニクス産業を例に多国籍企業による工業立地の特徴について理解を深めます。</p> <p>○先進国と発展途上国それぞれにおける新しい産業の集積の特徴について理解を深めます。</p> <p>○工業における国際分業の変化とそれに伴う国際競争の激化について理解を深めます。</p>	<p>○工業立地の条件がどのように類型化されるのか考察するとともに、立地の変化要因とそれによって生じる問題点について考察します。</p> <p>○先進国と東・東南アジア、BRICS における工業地域の分布とその変化について考察し、三極構造を発見します。</p> <p>○自動車工業とエレクトロニクス産業を例に統計資料を活用しながら多国籍企業による工業立地の特徴について考察します。</p> <p>○先進国と発展途上国それぞれにおける新しい産業の集積の特徴について多面的に考察します。</p> <p>○工業の国際分業の変化とそれに伴う国際競争の激化について具体例をあげながら考察します。</p>
		7 第三次産業と交通・通信	<p>○サービス産業の特徴や変化について理解を深めます。</p> <p>○交通手段や情報通信の特徴や変化について理解を深めます。</p>	<p>○サービス産業を構成する具体的な業種をあげながらサービス業の特徴や変化について考察します。</p> <p>○統計資料を用いて交通手段や情報通信の特徴や変化について考察します。</p>
8 消費と観光	<p>○先進国と発展途上国の消費行動の特徴について理解を深めます。</p> <p>○人々の日常の活動から行動空間を抽出し、消費活動の特性について理解を深めます。</p> <p>○IT 化の進展に伴う行動空間の変容について多面的・多</p>	<p>○先進国と発展途上国の消費行動の特徴について具体例をあげながら考察します。</p> <p>○一日、年間、生涯における生活行動を時空間軸に描くことで、人々の行動パターンや消費行動空間を抽出します。</p> <p>○IT 化の進展に伴う行動空間</p>		

月	单元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			<p>角的に理解を深めます。</p> <p>○社会状況の変化によって消費者サービスの多様化が引き起こされるとともに、関連産業の立地が変化し、商圏が再編されることを理解します。</p> <p>○余暇行動が拡大していった社会的背景について多面的・多角的に理解を深めます。</p> <p>○余暇行動の地域差についてヨーロッパと日本とを比較しながら、その相違点について理解を深めます。</p> <p>○ヨーロッパと日本の余暇行動の最近の動向について具体例をあげながら理解を深めます。</p>	<p>の変容について具体例をあげながら考察します。</p> <p>○社会状況の変化によって消費者サービスの多様化が引き起こされるとともに、関連産業の立地が変化し、商圏が再編されることを具体例をあげながら考察します。</p> <p>○余暇行動が拡大していった社会的背景について多面的・多角的に考察します。</p> <p>○余暇行動の地域差についてヨーロッパと日本とを比較しながら、その相違点について考察します。</p> <p>○ヨーロッパと日本の余暇行動の最近の動向について具体例をあげながら考察します。</p>
		9 貿易と経済機構	<p>○自由貿易体制が構築された背景やそれに伴い生じた国際分業体制の特徴について理解を深めます。</p> <p>○日本の貿易の特徴と抱えている課題について理解を深めます。</p>	<p>○自由貿易体制が構築された背景やそれに伴い生じた国際分業体制の特徴について統計資料をもとに考察します。</p> <p>○日本の貿易の特徴を踏まえて、貿易摩擦が起こる背景とその対応策について検討します。</p>
10月	第3章 人口、都市・村落	1 人口	<p>○世界の人口分布と人口推移の現状について地球的視野から大観します。</p> <p>○人口動態の推移について理解を深めるとともに、各国の置かれた社会状況を読み解く手段としての人口ピラミッドの有効性に気づきます。</p> <p>○地球規模での人口移動の変遷について歴史的背景から理解を深めます。</p> <p>○労働者と難民を事例に地球規模での人口移動の特徴とその社会的背景について理解を深めます。</p>	<p>○世界の人口分布と人口推移の現状について主題図や統計を用いて地球的視野から考察します。</p> <p>○統計資料を用いて人口動態の推移について考察し、各国の人口ピラミッドを作成することで、その国の置かれた社会状況について考察します。</p> <p>○主題図や写真を用いて地球規模での人口移動の変遷について歴史的背景から考察します。</p> <p>○主題図や統計を用いて労働者と難民を事例に地球規模で</p>

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
				の人口移動の特徴とその社会的背景について考察します。
		2 人口問題	<p>○発展途上国が抱える人口爆発の要因とそれによって生じる社会問題，解決へ向けての課題について理解を深めます。</p> <p>○先進国の少子高齢化とその社会的背景，それによってもたらされる諸問題，それらを克服する取り組みについて理解を深めます。</p>	<p>○発展途上国が抱える人口爆発の要因とそれによって生じる社会問題，解決へ向けての課題について資料を活用しながら考察します。</p> <p>○先進国の少子高齢化とその社会的背景，それによってもたらされる諸問題，それらを克服する取り組みについて資料を活用しながら考察します。</p>
		3 都市・村落	<p>○都市の発達や大都市圏の形成過程について多面的に理解を深めます。</p> <p>○都市システムが形成される背景について都市の階層性との関わりから理解を深めます。</p> <p>○複数の国々を取り上げ，都市システムの特徴について比較することで，各国間の相違点について理解します。</p> <p>○経済，航空交通，文化，芸術などを指標に世界規模で都市システムが形成されていることを理解します。</p> <p>○大都市圏の都市構造の特徴について実在の都市の状況を踏まえながら理解を深めます。</p> <p>○大都市圏の構造の変化について成長・衰退・再生の観点から理解を深めます。</p> <p>○村落の機能とその立地要因について自然条件との関わりから理解を深めます。</p> <p>○村落の形態の特徴や成立条件についていくつかの具体的な事例を踏まえながら理解を深</p>	<p>○具体例をあげて都市の発達や大都市圏の形成過程について多面的に考察します。</p> <p>○ある国内企業の本支店，営業所所在地を事例に都市間の階層性を見いだすことで，都市システムについて把握します。</p> <p>○各国の主要都市を人口規模順にグラフにプロットする作業を通して，各国間の都市システムの特徴を見いだしていきます。</p> <p>○経済，航空交通，文化，芸術などを指標にしながら世界規模で都市システムが形成されていることを見いだしていきます。</p> <p>○実在の都市を事例に大都市圏の都市構造の特徴についてモデルを用いながら考察します。</p> <p>○大都市圏の構造の変化について成長・衰退・再生の観点から具体例に基づいて考察します。</p> <p>○写真や地形図を活用しながら村落の機能とその立地要因について自然条件との関わり</p>

月	单元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			めめます。 ○近年の村落の変化の状況とそれをもたらす社会的背景について理解を深めます。 ○日本の都市と農村が抱える問題について理解を深めます。	から考察します。 ○写真や地形図を活用しながら村落の形態の特徴や成立条件についていくつかの具体的な事例を踏まえながら考察します。 ○写真を活用しながら近年の村落の変化の状況とそれをもたらす社会的背景について考察します。 ○グラフや主題図を活用しながら日本の都市と農村が抱える問題について考察します。
		4 居住・都市問題	○発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について多面的・多角的に理解を深めます。 ○先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて理解を深めます。	○発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について写真や統計をもとに多角的・多面的に考察します。 ○先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて写真や統計をもとに多角的・多面的に考察します。
	第4章 生活文化, 民族 ・宗教	1 生活文化	○文化についての定義を踏まえた上で、文化の差異と融合、各地域における自然環境との関係によって多様性をもたらされることを理解します。 ○生活文化の地域性による相違について各地域における伝統的な生業形態との関わりから理解を深めます。 ○衣服を軸に、現代世界における文化の多様性について理解します。 ○食生活を軸に、現代世界における文化の多様性について理解します。	○文化についての定義を踏まえた上で、写真や具体物を用いて文化の差異と融合、多様性について多面的・多角的に考察します。 ○写真を用いて生活文化の地域性による相違について各地域における伝統的な生業形態との関わりから考察します。 ○写真や主題図を用いて現代世界における衣服の多様性についてさまざまな角度から考察します。 ○写真や主題図を用いて現代世界における食生活の多様性

月	单元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
11 月			○住居を軸に、現代世界における文化の多様性について理解します。	についてさまざまな角度から考察します。 ○写真や主題図を用いて現代世界における住居の多様性についてさまざまな角度から考察します。
		2 民族・言語・宗教	○民族についての定義を踏まえた上で、国民国家やエスニシティとの関係性について理解を深めます。 ○言語と宗教を軸に、現代世界における文化の多様性について理解します。	○民族についての定義を踏まえた上で、国民国家やエスニシティとの関係性について写真や主題図を用いて考察します。 ○主題図を用いて言語や宗教の世界規模での分布の特徴について多角的・多面的に把握します。
		3 民族問題	○世界各地で勃発している民族紛争の社会的背景について理解を深めます。 ○旧ユーゴスラビアを事例に宗教的相違によって生じた民族紛争が何をもたらしたのか理解を深めます。 ○難民の発生する要因について理解した上で、難民の発生国の特性について把握します。 ○文化均質化克服の一手段としての多文化共生への取り組みについてニュージーランドを事例に理解を深めます。	○世界各地で勃発している民族紛争の社会的背景について写真や主題図を用いて考察します。 ○旧ユーゴスラビアを事例に宗教的相違によって生じた民族紛争が何をもたらしたのか考察します。 ○難民の発生する要因について理解した上で、難民の発生国の特性について世界地図を用いて考察します。 ○文化均質化克服の一手段としての多文化共生への取り組みについてニュージーランドを事例に多面的・多角的に考察します。
		4 現代の国家と領土問題	○国家の領域や国境の概念について具体例をあげながら理解を深めていきます。 ○領土問題の発生要因について理解するとともに、地球的視野に立って解決策について考えていきます。 ○日本の地理的位置と領域、日本の抱える領土問題を取り	○国家の領域や国境の概念について具体例をあげながら多面的・多角的に考察します。 ○領土問題発生背景が国益の衝突にあることを踏まえ、問題を平和的に解決するための方法について模索します。 ○日本の地理的位置と領域、日本の抱える領土問題を取り上

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			上げ、世界的な見地から日本という国を理解していきます。	げ、世界的な見地から日本という国を考察します。
	第3編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分	1 地域区分の方法と意義	○地域概念についての定義を踏まえた上で、さまざまな指標によって地域を区分することの意義について理解を深めます。 ○地域区分法としての等質地域と機能地域との違いについて理解を深めます。	○地域概念についての定義を踏まえた上で、さまざまな指標によって地域を区分することの意義について地図を用いて地域区分を行う作業を行うことで気づいていきます。 ○地域区分法としての等質地域と機能地域との違いについて主題図を参照しながら考察していきます。
		2 地誌的な考察方法とこの教科書の事例地域	○これから学習する世界の諸地域について、地域的特色をとらえるために適切な地誌的方法を把握します。	○これから学習する世界の諸地域について、地域的特色をとらえるために適切な地誌的方法を考えていきます。
	第2章 現代世界の諸地域	1 東アジア	○計画経済から改革開放路線への変化に伴い何がもたらされたのか経済面・貿易面を中心に理解を深めます。 ○改革開放政策に伴い急速に進む工業化と都市化の現状とそれによる影響について具体的事例をもとに理解を深めます。 ○改革開放政策に伴いもたらされた農業・農村の近代化、産業構想の変化について理解するとともに、地域格差が拡大していることも把握します。 ○中国国内の多様な民族構成と文化的多様性について理解した上で、経済発展に伴い生活文化が変容していることを理解します。 ○経済成長に伴い深刻化する環境問題の現状について理解を深めます。	○計画経済から改革開放路線への変化に伴い何がもたらされたのか、統計を活用しながら経済面・貿易面を中心に考察します。 ○改革開放政策に伴い急速に進む工業化と都市化の現状とそれによる影響について具体的事例をもとに考察します。 ○統計や主題図を用いて改革開放政策に伴いもたらされた農業・農村の近代化、産業構想の変化について考察するとともに、地域格差が拡大していることを考察します。 ○中国国内の多様な民族構成と文化的多様性について理解した上で、経済発展に伴い生活文化が変容していることを写真を用いて考察します。 ○経済成長に伴い深刻化する環境問題の現状について具体例をあげながら考察します。

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
12 月			<p>○世界に広がる中国の影響力について産業面や資源獲得競争の面から理解を深めます。</p> <p>○韓国の 20 世紀後半以降の経済成長の変遷について歴史的背景を踏まえながら理解を深めます。</p> <p>○経済成長に伴う工業化や都市化の進展とそれに伴い生じる農村部における過疎化の問題、ソウル一極集中の問題について理解を深めます。</p> <p>○韓国の文化の独自性について思想、文字、衣食住を中心に理解を深めます。</p>	<p>○世界に広がる中国の影響力について産業面や資源獲得競争の面から具体例をあげながら考察します。</p> <p>○韓国の 20 世紀後半以降の経済成長の変遷について歴史的背景を踏まえながら具体的に考察します。</p> <p>○経済成長に伴う工業化や都市化の進展とそれに伴い生じる農村部における過疎化の問題、ソウル一極集中の問題について考察します。</p> <p>○韓国の文化の独自性について思想、文字、衣食住を中心に写真を用いて考察します。</p>
		2 東南アジア	<p>○東南アジアの概要について自然環境、言語、宗教を切り口に理解を深めます。</p> <p>○川と海による諸地域間の結びつきが今日の東南アジアの地域性を形成したことを理解します。</p> <p>○東南アジアにおける商業的農業の展開とその課題について歴史的背景を踏まえながら理解を深めます。</p> <p>○ASEAN 諸国の発展過程を踏まえながら諸国間が今日の協働社会を築き上げてきた経緯と多民族国家としての今後の課題について理解を深めます。</p> <p>○ASEAN 諸国の開発と工業化の現状と課題についてタイとマレーシアを事例に理解を深めるとともに、ASEAN 域内における分業体制の展開についても理解を深めます。</p> <p>○ASEAN 諸国における新たな</p>	<p>○主題図や写真を用いて東南アジアの概要について自然環境、言語、宗教を切り口に考察します。</p> <p>○川と海による諸地域間の結びつきが今日の東南アジアの地域性を形成したことを地図を用いて考察します。</p> <p>○東南アジアにおける商業的農業の展開とその課題について歴史的背景を踏まえながら考察します。</p> <p>○ASEAN 諸国の発展過程を踏まえながら諸国間が今日の協働社会を築き上げてきた経緯と多民族国家としての今後の課題について主題図や統計を用いて考察します。</p> <p>○ASEAN 諸国の開発と工業化の現状と課題についてタイとマレーシアを事例に統計を用いて考察するとともに、ASEAN 域内における分業体制の展開についても統計を用いて考察し</p>

月	单元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
1 月			<p>前進と課題について IT, 華人問題, 都市農村格差を事例に理解を深めます。</p>	<p>ます。</p> <p>○ASEAN 諸国における新たな前進と課題について IT, 華人問題, 都市農村格差を事例に写真を用いて考察します。</p>
		3 南アジア	<p>○インドの経済自由化や産業開発, 工業化の進展と国土構造の変化についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから理解を深めます。</p> <p>○インドにおける高い人口増加率の背景・要因と社会にもたらす影響について理解を深めます。</p> <p>○インドの農業の変化について緑の革命をはじめとする技術改革との関わりから理解を深めます。</p> <p>○農村社会の変化について都市化の進展との関わりから理解を深めます。</p> <p>○経済成長や都市化に伴う社会の変化についてメリットとデメリットに区分しながら理解を深めます。</p> <p>○南アジアの多様性について自然と文化を指標に理解を深めるとともに, 地域協力の現況について理解を深めます。</p>	<p>○インドの経済自由化や産業開発, 工業化の進展と国土構造の変化についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから主題図や統計を用いて考察します。</p> <p>○インドにおける高い人口増加率の背景・要因と社会にもたらす影響について統計を用いて考察します。</p> <p>○インドの農業の変化について緑の革命をはじめとする技術改革との関わりから統計を用いて考察します。</p> <p>○農村社会の変化について都市化の進展との関わりから考察します。</p> <p>○経済成長や都市化に伴う社会の変化についてメリットとデメリットに区分しながら写真や統計を用いて考察します。</p> <p>○主題図や写真を用いて, 南アジアの多様性について自然と文化を指標に考察するとともに, 地域協力の現況について考察します。</p>
		4 西アジアと中央アジア	<p>○西アジアと中央アジアの人々の生活の共通点と相違点について自然環境や歴史的背景を踏まえながら理解を深めます。</p> <p>○西アジアと中央アジアの民族・文化の共通点と相違点について宗教, 言語を指標に理解を深めます。</p>	<p>○西アジアと中央アジアの人々の生活の共通点と相違点について自然環境や歴史的背景を踏まえながら考察します。</p> <p>○写真や主題図を用いて西アジアと中央アジアの民族・文化の共通点と相違点について宗教, 言語を指標に考察します。</p> <p>○統計を用いて西アジアと中</p>

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			○西アジアと中央アジアの産業の共通点と相違点について天然資源を指標に理解を深めます。	中央アジアの産業の共通点と相違点について天然資源を指標に考察します。
		5 北アフリカとサハラ以南アフリカ	○北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について自然環境、歴史、生業、文化を指標に理解を深めます。 ○北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国の産業や都市に関する共通点と相違点について理解を深めます。 ○北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における政治状況や他地域との結びつきについて理解を深めます。	○北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について自然環境、歴史、生業、文化を指標に考察します。 ○写真や主題図を用いて北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国の産業や都市に関する共通点と相違点について考察します。 ○北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における政治状況や他地域との結びつきについて歴史的背景を踏まえながら考察します。
		6 ヨーロッパ	○EU 統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解を深めるとともに、統合へ向けての歴史的変遷について理解を深めます。 ○EU における産業の変化について農業と工業を指標に理解を深めるとともに、新たな産業地域形成を目指す動きについても理解を深めます。 ○EU における都市間競争と大都市の再編について市場統合、通貨統合との関わりから理解を深めます。 ○EU が抱える諸課題として地域格差と環境問題を取り上げ、その克服へ向けた取り組みと国家間の協力関係について理解を深めます。 ○冷戦終結後の EU の東方拡大の現状と課題について理解を深めるとともに、欧州以外	○主題図や各種資料を用いて EU 統合が進む背景について民族と宗教との関わりから考察するとともに、統合へ向けての歴史的変遷について考察します。 ○写真や主題図を用いて EU における産業の変化について農業と工業を指標に考察するとともに、新たな産業地域形成を目指す動きについても考察します。 ○写真や主題図を用いて EU における都市間競争と大都市の再編について市場統合、通貨統合との関わりから考察します。 ○写真や主題図を用いて EU が抱える諸課題として地域格差と環境問題を取り上げ、その克服へ向けた取り組みと国家間の協力関係について考察します。

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
2 月			の地域との関係についても貿易面を中心に理解を深めていきます。	○写真や主題図、統計を用いて冷戦終結後のEUの東方拡大の現状と課題について考察するとともに、欧州以外の地域との関係についても貿易面を中心に考察します。
		7 ロシア	○ロシアと周辺諸国の地域的 多様性について地形、気候、 民族を指標に理解を深めます。 ○ロシアにおける市場経済へ の移行に伴い経済・社会や人 口、人々の生活がどのように 変化したのか理解を深めます。 ○ロシアの農業、鉱工業地域 の分布の特徴について多面的 ・多角的に理解を深めるとと もに、近年の産業地域の変化 とそれに伴い生じる課題につ いても理解を深めます。	○主題図や写真を用いてロシ アと周辺諸国の地域的多様性 について地形、気候、民族を指 標に考察します。 ○ロシアにおける市場経済へ の移行に伴い経済・社会や人 口、人々の生活がどのように変 化したのか具体例をあげなが ら考察します。 ○主題図や統計を用いてロシ アの農業、鉱工業地域の分布の 特徴について多面的・多角的に 考察するとともに、近年の産業 地域の変化とそれに伴い生じ る課題についても考察します。
		8 アングロアメ リカ	○アングロアメリカの自然環 境の多様性とそれによって形 成される農業地帯の特色につ いて理解を深めます。 ○アングロアメリカの特色で ある多民族多文化社会の形成 過程について歴史的背景を踏 まえながら理解を深めます。 ○アングロアメリカの経済が 世界最大と位置づけられる社 会的背景について科学技術、 鉱産資源、金融の側面から理 解を深めるとともに、置かれ ている課題についても理解を 深めます。 ○アングロアメリカの鉱工業 地域の変化について先端技術 産業の発展との関わりから理 解を深めます。	○写真や主題図を用いてアン グロアメリカの自然環境の多 様性とそれによって形成され る農業地帯の特色について考 察します。 ○主題図を用いてアングロア メリカの特色である多民族多 文化社会の形成過程について 歴史的背景を踏まえながら考 察します。 ○統計資料を用いてアングロ アメリカの経済が世界最大と 位置づけられる社会的背景に ついて科学技術、鉱産資源、金 融の側面から考察するととも に、置かれている課題につい ても考察します。 ○アングロアメリカの鉱工業 地域の変化について先端技術

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			○アメリカにおける情報社会への移行に伴う大都市圏の拡大と地域分化の現状と課題について理解を深めます。	産業の発展との関わりから考察します。 ○統計や衛星画像を用いてアメリカにおける情報社会への移行に伴う大都市圏の拡大と地域分化の現状と課題について考察します。
		9 ラテンアメリカ	○ラテンアメリカ諸国における自然環境と歴史・文化の特徴について歴史的背景を踏まえながら理解を深めます。 ○ラテンアメリカ諸国の産業と経済構造の特徴について歴史的背景を踏まえながら理解を深めます。 ○グローバル化によるラテンアメリカにおける地域統合の進展の現状と課題について多面的・多角的に理解を深めます。 ○ブラジルを事例に地域開発や都市化の進展によって生じる諸課題について多面的・多角的に理解を深めます。 ○移民社会としてのラテンアメリカ諸国の特徴について理解を深めるとともに、グローバル化の進展に伴い増大している海外への出稼ぎ移民の現状について多面的・多角的に理解を深めます。	○主題図や写真を用いてラテンアメリカ諸国における自然環境と歴史・文化の特徴について歴史的背景を踏まえながら考察します。 ○統計や主題図を用いながらラテンアメリカ諸国の産業と経済構造の特徴について歴史的背景を踏まえながら多面的・多角的に考察します。 ○グローバル化によるラテンアメリカにおける地域統合の進展の現状と課題について多面的・多角的に考察します。 ○写真や統計を用いブラジルを事例に地域開発や都市化の進展によって生じる諸課題について多面的・多角的に考察します。 ○移民社会としてのラテンアメリカ諸国の特徴について考察するとともに、グローバル化の進展に伴い増大している海外への出稼ぎ移民の現状について多面的・多角的に考察します。
		10 オセアニア	○オーストラリアとニュージーランドの多文化社会がどのように形成されてきたのか、先住民族、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから理解を深めます。	○写真や主題図、統計を用いてオーストラリアとニュージーランドの多文化社会がどのように形成されてきたのか、先住民族、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから考察し

月	単元名	学習項目	学習内容	主な学習活動
			<p>○オーストラリアとニュージーランドの自然環境の特性とそれをもとに成立している農牧業の地域的分布の特徴について理解を深めます。</p> <p>○オーストラリア経済やニュージーランド経済における鉱産資源や農業の重要性について理解を深めます。</p> <p>○オーストラリアの都市の分布とその歴史的な発達過程について理解を深めます。</p> <p>○オーストラリア・ニュージーランドと他地域との経済的な結びつきについて貿易と観光に着目して理解を深めます。</p>	<p>ます。</p> <p>○主題図や写真を用いてオーストラリアとニュージーランドの自然環境の特性とそれをもとに成立している農牧業の地域的分布の特徴について考察します。</p> <p>○統計、写真を用いてオーストラリア経済やニュージーランド経済における鉱産資源や農業の重要性について考察します。</p> <p>○写真と統計を用いてオーストラリアの都市の分布とその歴史的な発達過程について考察します。</p> <p>○貿易と観光に関する統計を用いてオーストラリアやニュージーランドの他地域との経済的な結びつきについて考察します。</p>
3月	第3章 現代世界と日本	1 日本が直面する地理的な諸課題	○日本における地理的な課題を見いだすために戦後の国土構造の歴史的変遷や自然災害への備えについて理解を深めます。	○日本における地理的な課題を見いだすために戦後の国土構造の歴史的変遷や自然災害への備えで必要なことを把握し、そこから課題を抽出します。
		2 日本が抱える地理的諸課題を探究する	○地理的諸課題の具体例について示した上で、その一連の調査方法について理解を深めます。	○地理的諸課題の具体例を踏まえ、その一連の調査方法について理解するとともに、調査することの意味について考えていきます。

4 評価の方法

(1) 評価の観点

評価は学習で身につける力を次の四つの観点から把握するようにします。

関心・意欲・態度	○地理的諸事象，ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味・関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。 ○地理学習の意義を積極的に見だし，そこで得た知識・技能・態度をより良い社会生活へ向けて，ないしは現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。
思考・判断・表現	○地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。 ○現代世界の諸地域の特色について歴史的背景との関わりから地誌的に考察することができる。 ○地理的概念や規則性をもとに，現代世界の諸地域で生じている諸課題の現状について把握することができる。 ○現代的諸課題を，世界諸地域の特色を踏まえて，その背景・要因・解決策を多方面から追究し，より良い社会の在り方を持続可能性という観点から提言することができる。
資料活用の技能	○地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。 ○文献や統計の分析，野外における諸事象の観察から，地理情報を見だし，それを的確に地図化することができる。 ○地図化したことを，論理的に分析・解釈することで，その成果をパワーポイントやレポートなどに的確にまとめることができる。
知識・理解	○地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間・環境・地域），地理的見方・考え方を身につけている。

(2) 評価の時期と方法

ア 年5回の定期考査では，ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。

イ 課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とします。課題の設定・追究学習を行う際には，「SKILL」などを参考にしてください。

ウ 学習活動の様子や発表，討論などの様子を評価のための資料とします。

エ 自己評価，振り返りシートを参考とします。

(3) 評定について

評定は，上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して行います。